

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 28 年 3 月

計画の名称	1 活力あふれる交流と賑わいのあるまちづくり																								
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	知立市																						
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の一体的な整備を推進することにより、既存の密集市街地の防災機能の向上や生活環境の改善を図り、まちの賑わいを創造する。</li> <li>・ 人びとの交流の場となる公園等の公共施設の整備・改良を推進するとともに、各施設への交通機能向上を図ることにより、多世代が交流できる活力あるまちづくりを実現する。</li> </ul>																								
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の一体的な整備で、既存の密集市街地の老朽木造建築棟数の建替えを促進し、防災機能の向上を目指す。</li> <li>・ 人びとの交流の場となる公園等の公共施設について、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を推進することで、施設の快適・安心性向上を目指す。</li> <li>・ 公共交通機関の利便性を向上させることで、市中心部や各施設への移動円滑化を目指す。</li> </ul>																								
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>① 老朽木造建築棟数率（％） =建物全棟数のうち、昭和56年以前に旧建築基準法で建築された木造建物の割合 =昭和56年以前の木造建物の棟数(件)÷建物全棟数(件)×100</td> <td>31%</td> <td>28%</td> <td>25%</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>② 都市公園のユニバーサルデザイン化率（％） =都市公園のうち、ユニバーサルデザインに配慮した施設を設置している公園÷市内の都市公園</td> <td>17%</td> <td>20%</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>③ 知立駅におけるミニバスの乗車人数（人/年）</td> <td>58,000人</td> <td>63,000人</td> <td>68,000人</td> </tr> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	① 老朽木造建築棟数率（％） =建物全棟数のうち、昭和56年以前に旧建築基準法で建築された木造建物の割合 =昭和56年以前の木造建物の棟数(件)÷建物全棟数(件)×100	31%	28%	25%		② 都市公園のユニバーサルデザイン化率（％） =都市公園のうち、ユニバーサルデザインに配慮した施設を設置している公園÷市内の都市公園	17%	20%	24%	③ 知立駅におけるミニバスの乗車人数（人/年）	58,000人	63,000人	68,000人	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																				
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																						
① 老朽木造建築棟数率（％） =建物全棟数のうち、昭和56年以前に旧建築基準法で建築された木造建物の割合 =昭和56年以前の木造建物の棟数(件)÷建物全棟数(件)×100	31%	28%	25%																						
② 都市公園のユニバーサルデザイン化率（％） =都市公園のうち、ユニバーサルデザインに配慮した施設を設置している公園÷市内の都市公園	17%	20%	24%																						
③ 知立駅におけるミニバスの乗車人数（人/年）	58,000人	63,000人	68,000人																						
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,220百万円	A	2,755百万円 (うち提案事業45百万円)	B	0百万円	C	465百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	15.8%															

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事後評価の検討にあたり、事業担当課のみならず、庁内の横断的な組織によって、総合的かつ専門的な見地から検討を行うため、庁内の関係部署による「社会資本総合整備計画事業評価庁内検討会議」を組織した（2回開催：平成27年9月、10月）。 また、事後評価等が適切に遂行されたことを中立・公平な立場で確認していただくとともに、意見を求めることを目的として、有識者や地元関係者により「社会資本総合整備計画事業評価委員会」を組織した（2回開催：平成27年8月、11月（予定））。	平成27年度に事後評価を実施、平成28年度に確定値によってフォローアップ調査を実施
公表の方法	知立市都市整備部まちづくり課の窓口で閲覧、知立市のホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A-1	都市再生整備計画	一般	知立市	直接	知立市			知立駅周辺地区都市再生整備計画事業	道路、土地区画整理等 915ha	知立市						2,755	
											合計	2,755					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	施設整備	一般	知立市	直接	知立市		保育園新築事業	南保育園の新築	知立市						448	
1-C-2	活動支援	一般	知立市	直接	知立市		コミュニティバス購入事業	ミニバス車両の購入	知立市						17	
合計														465		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	都市再生整備計画事業（1-A-1）地内にある宝保育園の乳児保育（0歳～2歳児）が飽和状態となっているなか、本事業において南保育園を整備することにより、子育て支援センター併設、乳児保育（0歳～2歳児）の拡充や一時保育の開始など、子育て環境を拡充することで、市中心部の子育て環境の向上にも寄与でき、一体的な『賑わいのあるまちづくり』の実現に効果的と考えられる。															
1-C-2	都市再生整備計画事業（1-A-1）の整備と併せ、公共交通（ミニバス）の利便性向上を図ることにより、市民の移動円滑化を図り、地域の賑わいの創出を目指す。															

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>知立駅周辺地区土地区画整理事業や道路事業などによる建物移転・建替えが順調に進捗していることにより、老朽木造建築棟数が減少しているものと考えられる。</li> <li>新設又はユニバーサルデザイン化を予定していた公園において、ユニバーサルデザインに配慮したトイレの設置を推進したことにより、多様な方々の交流の場となる公園を創出できたものと考えられる。</li> <li>コミュニティバス購入事業により、新たにミニバス車両を導入するとともに、新しいルートを設定し停留所を増設したことにより、生活の足をミニバスに頼らざるを得ない年少者や高齢者の利便性が向上し、交通機能の強化を図ることができたものと考えられる。</li> </ul>				
II 定量的指標の達成状況	指標①（老朽木造建築棟数率）	最終目標値	25%	目標値と実績値に差が出た要因	—	
		最終実績値	24%			
	指標②（都市公園のユニバーサルデザイン化率）	最終目標値	24%	目標値と実績値に差が出た要因	—	
		最終実績値	24%			
	指標③（知立駅におけるミニバスの乗車人数）	最終目標値	58,000人/年	目標値と実績値に差が出た要因	知立駅に直結するルートを新たに設定したことで、通勤、通学での利用者が増加した。加えて、平成25年度に、夏休み期間中、中学生までの児童を対象に運賃を無料にするなど、ミニバスの利用促進活動の効果が表れたこと等が要因となり、目標値を上回る乗車人数となったと考えられる。	
		最終実績値	82,000人/年			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		知立南保育園を整備したことで、保育時間が延長されたほか、乳児保育の人数が拡充され保育環境の充実が図られた。その結果、都市再生整備計画事業区域内からの通園児童が増加しているなど、住民（子育て世代）のニーズにあった多様な子育て環境が創出されたと言える。また、育児を通じた人々の交流の促進にも寄与しているものと考えられる。				

## 3. 特記事項（今後の方針等）

【効果を持続させるテーマ】	テーマ①：知立駅周辺の一体的な事業の推進	テーマ②：多世代が暮らしやすい都市環境の創出
【効果を持続させるための基本的な考え方】	引き続き、土地区画整理事業や都市計画道路整備事業、連続立体交差事業等を一体的に推進・促進することにより、安全性の高い適正な街区形成を図り、市の玄関口にふさわしい活力や賑わいの創出に繋がる魅力的な中心拠点の形成を図っていく。	地域交流の場となる公園や駅前広場などの整備を推進し、子育て世代などが住みやすい環境を形成する。
【想定される事業案】	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業の推進</li> <li>知立連続立体交差事業の推進</li> <li>知立駅前広場の整備</li> <li>都市計画道路の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設のバリアフリー化の促進</li> <li>知立駅前広場の整備</li> </ul>

(参考様式3)

(参考図面) 市街地関連整備

